

3. 全部協活動報告

1) 「第 5 回通常総代会」を開催しました



全部協は 6 月 18 日（月）、「第 5 回通常総代会」を東京都荒川区のホテルラングウッドで開催しました。当日朝に発生した大阪北部地震の影響により、近畿地方の組合員を中心に欠席や遅刻も見られたものの、出席者が定数に達し予定どおりに総代会を開催しました。

総代会では平成 30 年度の事業計画等を承認可決、また役員の変更では香川裕嗣（琴平自動車）、杠和俊（東亜商会）両氏が副会長に新任しました。新戸部八州男理事長、森川等、山下藤雄両副理事長は再任となりました。



総代会後には、国土交通省自動車局整備課・奥村貴志氏による講演「自動車運転等の新技術の進化・普及とアフターマーケット市場での対応について」が行われました。

自動ブレーキなど運転支援技術の進展とともにアフターマーケットに求められる電子装置の不具合への対応、整備技術・検査の高度化等に関し、現状の取り組みや今後の課題点について解説しました。講演終了後は、聴講した組合員や賛助会員から奥村氏への質問が寄せられました。特にエーミングに関する質問では、車種ごとに異なる計測基準や整備

業界での周知や理解度の低さについて懸念する業界関係者からの声が目立ちました。

2) 正副理事長が会見を開きました

総代会前には新戸部理事長らが会見を行い、全部協の事業展開や今後の方針、部品商業界の課題などについてメディアからの質問に答えました。また今後の課題として、後継者不足に

よる部品商の廃業などが増えつつある現状を踏まえ、組合員間での M&A の支援なども検討したいとしました。先ごろ一部の優良部品で品質に問題のある商品が見つかった件については、「かつての優良部品はほとんどが国内で製造され信頼も高かったが、最近は海外製の部品等もあり品質にバラつきも見られる。今回の件をどう収束させるかは JAPA の役割ではないか」と慎重に見守りたい考えを示しました。

